# 国際協力への誘い（いざな）

## –高校生に向けた国際協力の魅力について–

皆さんと同じ高校生が国際協力の魅力を伝え、
将来の夢の一つの選択肢として知ってもらうためにパンフレットを作成しました。

独立行政法人国際協力機構　関西センター（JICA関西）

# さあ、新しい一歩を踏み出そう。

気候変動、貧困、経済格差など
世界が抱える問題は私たちの未来
とも繋がっています。
そして、たった1人の小さな行動が
地球規模の変化を生む力になる。
あなたもその1人なのです。

## 高校生がインタビューした国際協力の仕事をしている方々を紹介します！

### 現在どんな活動をしていますか？

**栗田　佳典さん**

関西NGO協議会の事務局長として相談の対応や、NGOへの助成金支援、国際協力イベントの開催などに取り組んでいる。

栗田さんのここが素敵！
自分の経験を
誰かのために活かせる

### 国際協力の魅力とは？

共に課題解決に取り組もうとするたくさんの仲間と出会えることです。いろんなNGOの方々とやりとりするようになり、仲間がどんな思いでどんな活動をしているかを知ることができました。また「自分の仕事が誰かのためになっている」というのが目に見えてわかったり、実感できたりするということも大きな魅力だと思っています。

### 高校生に知ってほしいことは？

ＳＤＧｓという言葉が身近な社会になり、さまざまな国際協力のキーワードを国内でも見たり聞いたりする機会が増えたと思います。実は私たちとの生活にも関わっていたり、あるいは私たちも課題解決に関わったりすることもできます。そういうことをもっと知ってもらって「自分にも変えられるかもしれない」って思ってほしいです。

# JICA海外協力隊を経て　今を生きる方々の軌跡

JICA海外協力隊とは、途上国の国づくりに貢献できる人材として現地に派遣され、一緒に生活しながら問題を解決していくボランティアのことです。

### 現在どんな活動をしていますか？

**廣瀬　拓哉さん**

ブラジルの子ども達に野球の指導をしたり日本の野球メーカーの販路の開拓をしている

**西山　陽子さん**

日本で外国人患者の受け入れに積極的に取り組んでいるりんくう医療センターで看護師をしている

**市川　瑛子さん**

現地で作られたアクセサリーや衣料や石鹸などを売っている雑貨店nomanomaを営業

### JICA海外協力隊でどんなことをしていましたか？

- ブラジルで２年間野球指導者として野球を通してブラジルと日本を繋ぐ機会を作っていた。
- モンゴルで２年間看護師として現地の看護師に検査の仕方や道具の使い方の指導をしていた。
- ブルキナファソで３年間小学校教師として子どもたちに勉強を教えたり先生の教え方の見直しをしていた。

### JICA海外協力隊に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

中学校の先生だった時、ネパール人の子が日本語もわからないまま入ってきて、でも勉強も学校も頑張っていたんです。この子の凄さを面談で親御さんに伝えたかったのですができませんでした。もっと自分の言葉で伝えたかったし色んな人の考え方を知ることで生徒に向き合う術を見つけようと思い応募しました。

日本で看護師として働いていたときに東日本大震災がありました。そのとき、医療物資や人手が揃っていない状況を目の当たりにして衝撃を受け、それ以来世界の医療の不平等さに心が痛むようになりました。それを機に、私も行動しようと思い立った時に出会ったのが海外協力隊でした。

小学校教師になる前、海外で経験を積んで自信をつけようと思いました。しかし、留学などは金銭面で親に負担をかけてしまいます。なるべく心配させず海外へ出られるものを探そうと思っていたその時に見つけたのが海外協力隊でした。私は直感で動くタイプなのですぐに「これだ！」って決めましたね。

### 国際協力の魅力とは？

私は現地でチームを作って日本の子どもたちと南米の子どもたちを野球で繋げる活動をしています。

この活動を通して、生きていく上で確かにお金も大事だけど、本当の豊かさや幸せは「色んな選択肢があること」かなと思いました。例えば、仕事や人間関係に行き詰まった時にブラジルに行くと「おかえり」って迎えてくれる人たちがいる。それはとてもありがたいことであり、素晴らしい魅力だと思います。

廣瀬さんのここが素敵！
野球を教えることで
夢と勇気がうまれる

### 協力隊のやりがいは？

看護師の活動を始める前にまず、私の活動に協力してくれる仲間集めや病院の環境作りが大変で派遣されていた２年間のうちの１年を費やしました。言葉も通じなかったので現地の言語を学ぶのも大変でした。

しかし、私が教えた技術を現地の看護師さんたちが実行しているところを見て嬉しさとやりがいを感じました。寒いモンゴルではストーブなどの多用により子どもの火傷が多いので日本の火傷の手当方法がとても役に立ちました。

西山さんのここが素敵！
時間がかかっても
諦めない努力家

### 印象に残ったことは？

１人の現地の先生との出会いです。この方は私の仕事のパートナーであり、１番の理解者であり、仲間です。この方と共に立ち上げた「授業研究会」の取り組みは今ではブルキナファソ全土に広がっています。

そして、今の雑貨店を始めたのもこの取り組みを支援するためです。

※授業研究会:教育の質の向上を目的としたワークショップや支援のこと（例:授業観察、教材配布）

市川さんのここが素敵！
新しいことにつき進む
行動力

# インタビューを終えて

## ＜発案者の大学生から＞

田崎　あけむ

「さあ、新しい1歩を踏み出そう。」この言葉が全てを含んでいると感じています。
この企画は将来に悩む高校生にロールモデルの提供を通して手助けがしたいとの思いから立案しました。インタビューに応じてくださった方々のように誰もが世界に飛び出し、そこで活動をすることは決して簡単ではありません。ですが「自分の力を必要している場所がある」と信じて飛び出すことで新しい世界は開けてきます。
その一歩をこのパンフレットで後押しできたらと思います。

## ＜インタビューした高校生から＞

梅田　めい
折戸　あすか

私たちは今回、パンフレットを作るという視点から国際協力について調べてきて気づいたことがあります。それはインタビューしたみなさんは共通して、困っている人を「助けてあげる」という考えではなくて「自分たちで解決できるように支援する」という未来を見据えた考えをしているということです。また、自分たちに自覚がないだけで、実は他の国の情勢が私たちの生活にも影響が出ていると知り、私たちも少しでも自分のできることをしていきたいと思いました。

今まで私は寄付をすればしただけ、誰かの助けになっていると思っていました。ですが今回お話を聞く中で、寄付を貰うことや与えることが当たり前になってる現状は必ずしも良いこととは言えないということに気づきました。廣瀬さんは実際に沢山の人たちと関わり、沢山のことに挑戦しておられて、何事にも前向きな姿勢で取り組んでいるのがとても素敵だと思いました。私も難しいことでも前向きに取り組む姿勢を持ちたいと思います。

梅田　しほ

稲池　みつき

私は将来、海外で看護師として働きたいと思っており、JICAの海外協力隊事業に興味があったので、この活動に参加しました。実際に海外に行った看護師の方の意見を聞いて、まだまだ世界の現状や海外協力隊について、知られていないことも多いなと感じました。このリーフレットを読んでいただき、世界の様子やJICAの活動について興味を持ってくれる人が増えて欲しいです。

市川さんとの出会いは私の背中を押してくれました。それは、自分がしたいことにどんどん挑戦していく市川さんの姿勢が素晴らしいと感じたからです。また、私が興味を持っている教育について話したことで、教育に対する様々な考え方を知る、とても良い機会になりました。そして市川さんのかっこいい生き方を知ることができて前向きな気持ちにもなりました。私も"とりあえずやってみる"をモットーにして様々なことに挑戦していきたいと思います！

平林　はるか

## ＜興味がある方はこちらをチェック！＞

JICAの仕事
～高校生・学生対象～

JICA海外協力隊
Instagram

@JICA_KYORYOKUTAI

JICA関西
Instagram

JICA とはJapan International Cooperation Agency の頭文字を繋げた略称で、日本語では、「独立行政法人国際協力機構」と言います。日本の政府開発援助(ODA)を行う機関で、開発途上国への国際協力をしています。JICAは、開発途上国との信頼関係をとても大切にしながら、途上国と一緒に課題の解決に取り組んでいます。

発行　JICA関西　編集　JICA京都デスク
連絡先：【e-mail】jicadpd-desk-kyotofu@jica.go.jp【tel】080-8506-3714
2025年3月